

ゼオンノース

会社紹介

【事業内容】

各種設備の請負・設計・施工・管理、工業用資材・機材の販売、石油製品の仕入・販売、環境計量証明・作業環境測定・各種分析

1972 年設立。ゼオングループの事業活動に伴うプラントエンジニアリングを起点に、グループ外でも自社の特長を活かした各種工事を行っています。

2003 年 7 月には、関連会社の大三興産株式会社および日本ゼオン子会社のゼオン高岡分析センター株式会社と合併。2008 年に川崎営業所（神奈川県）、2011 年に水島営業所（岡山県）、2013 年に徳山営業所（山口県）を開設し、拠点拡大によるエンジニアリング事業発展に注力しています。

【人員数】

2018 年 3 月末人員数：234 名（男性 191 名、女性 43 名）

2017 年度採用実績：22 名（男性 18 名、女性 4 名）



ゼオンノース第 5 工場
(2016 年 1 月竣工)

サービスの例



機器据付工事



ビルメンテナンス

会社方針（トップメッセージ）

2018 年度は SZ-20 PhaseⅢの 2 年目であり、確実に計画目標を達成に向け、社員全員がベクトルを合わせ一丸となり、慎重さと大胆さをもって以下の方針と重点課題の達成に向け邁進します。

1. SZ-20 のありたい姿

CSR を徹底し、安全第一を貫き、エンジニアリング・商事・環境分析事業において、社会に貢献する

2. 2018 年度方針

安全と業務品質を向上し、年度目標を達成する。

3. 重点課題

- 1) コンプライアンスの徹底
- 2) 安全管理体制の強化
- 3) 品質保証活動の確実な実行
- 4) 教育体制の体系化と確実な実行



澤 宗樹社長

2017 年度の工程異常・労災発生の反省を踏まえ、今一度同じ課題としました。同じ課題であっても発想の転換、アプローチの仕方を変える。そして深い気づきと拘りが大切です。2016 年度の、鉄骨製作製造工場認定（R グレード）および軽金属溶接構造物製造工場認定（R 級）を取得に続き、2017 年度は、アルミニウム建築構造物 1 類製作工場認定を取得しました。この認定取得の実績を踏まえ、社会・お客様の期待に応えられるよう、安全と品質を両立を進めます。

また全社員が、対話と相互信頼をベースに一丸となり、上記課題を達成し、地域・社会から信頼・信用され、どこよりも必要とされる会社を目指します。その為に、全社員が健康でやりがいをもって働ける会社づくりを実現します。

安全への取り組み

【方針】

エンジニアリング事業を営む会社として、特に工事現場における安全管理体制の構築・改善に配慮し、安全管理体制を向上させる。

【具体的な取り組み】

- ・前年度に発生した事故の原因調査と解析による再発防止の徹底
- ・安全パトロールの強化
- ・ヒヤリハット活動、4 ラウンド危険予知活動の推進

ゼオンノース安全大会の開催（毎年5月）

協力会社との連携を深め、安全意識の高揚と安全知識の普及・情報共有を図ることを目的として、協力会社の代表が一堂に集います。現場で働く全員が高い安全意識を持って、常に安全が最優先される風土の構築を目指し、協力会社の皆さんと協力して取り組んでいきます。



ゼオンノース安全大会

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減のために省エネルギー・省資源化を推進します。

【具体的な取り組み】

- ・工場照明の LED 化
- ・環境負荷低減商品の販売拡大（屋根用ポリウレタコーティング剤「エココート」）

Rhino
ECO-COAT



屋根用ポリウレタコーティング剤
「エココート」

環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンノース（株）		2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	20	17	14	19	17
	埋立処分量（トン）	3.1	4.2	2.5	0.5	0.2
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		—	2.0	1.5	1.6	2.3
CO ₂ 排出量（トン）		146	161	159	273	320
エネルギー使用量（原油換算、kL）		85	92	103	119	133
消費電力量（千 kWh）		—	384	366	426	458

社員とともに

【方針】

教育体制の整備改善による企業体質の改善

【具体的な取り組み】

若手保全マンの教育施設「ZN 教育センター」を開設し、技術力アップとプロとしての意識改革を図っています。

- ・ベテラン保全マンを講師とする座学と実習教育を組み合わせたカリキュラム
- ・2017 年度「機械教育」(6 名)と「電気計装教育」(4 名)を実施



ZN 教育センター (電気計装教育)

地域との共生

【方針】

地域経済社会の活性化に貢献

【具体的な取り組み】

1. 清掃ボランティア活動

社員とご家族に参加を募り、地元の海岸クリーン作戦に協力しています。

- ・氷見海岸清掃 (約 33 名参加)

2. 消防訓練大会への参加

高岡市防火管理協議会主催の自衛消防隊消防訓練大会に、ゼオン高岡グループとして日本ゼオン(株)高岡工場、(株)オプテスとともに毎年参加しています。

- ・2017 年「消火器と屋内消火栓競技」の部で 4 年連続優勝



自衛消防隊消防訓練大会